



災害こころの医学講座

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 福島県立医科大学附属学術情報センター 公開日: 2021-06-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://fmu.repo.nii.ac.jp/records/2001087

鈴木眞一（座長）． 県民健康調査「甲状腺検査」の現状と課題（会長講演）． 第 43 回日本乳腺甲状腺超音波医学学会学術集会; 20191006; 福島.

鈴木眞一（座長）． 再発性甲状腺乳頭癌の臨床上的の特徴と治療戦略. 第 43 回日本乳腺甲状腺超音波医学学会学術集会; 20191006; 福島.

鈴木眞一（座長）． 特別企画 JABTS JOINT セッション「超音波診断における乳腺・甲状腺疾患の良・悪性識別のキポイント」． 第 52 回日本内分泌外科学会学術大会; 20191017; 東京.

鈴木眞一（座長）． 甲状腺治療最前線～最新デバイスを用いた Zero Complications に向けた取り組み～. 第 52 回日本内分泌外科学会学術大会; 20191018; 東京.

鈴木眞一． 遺伝性甲状腺癌. 第 57 回日本癌治療学会学術集会; 20191026; 福岡.

鈴木眞一． Professional Surgeon を目指して：若き臨床外科医たちへの提言 乳腺内分泌外科（総会特別企画）． 第 81 回日本臨床外科学会総会; 20191115; 高知.

鈴木眞一（座長）． 南海トラフ地震も含めた大規模災害対策：臨床外科医の果たすべき役割（総会特別企画）． 第 81 回日本臨床外科学会総会; 20191115; 高知.

災害こころの医学講座

論 文

〔原 著〕

Oe M, Maeda M, Ohira T, Itagaki S, Harigane M, Suzuki Y, Yabe H, Yasumura S, Kamiya K, Ohto H. Parental Recognition of Bullying and Associated Factors Among Children After the Fukushima Nuclear Disaster: A 3-Year Follow-Up Study from the Fukushima Health Management Survey. *Frontiers in Psychiatry*. 201905; 10:283.

Ito R, Kobayashi N, Yokoyama S, Irino H, Takebayashi Y, Suzuki SI. Interaction Effects of Behavioral Inhibition System/Behavioral Activation System and Cost/Probability Biases on Social Anxiety. *Frontiers in Psychology*. 201911; 10:2536.

Ueda Y, Murakami M, Maeda M, Yabe H, Suzuki Y, Orui M, Yasumura S, Ohira T; Fukushima Health Management Survey Group. Risk Factors for Problem Drinking among Evacuees in Fukushima following the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. *Tohoku Journal of Experimental Medicine*. 201908; 248(4):239-252.

前田正治. ト라우マ臨床の明日 ト라우マ臨床のこれまでとこれから ト라우マ臨床の現在 この四半世紀を振り返って. *こころの科学*. 201911; 208:14-18.

竹林 唯, 前田正治. 【自殺の対策と予防】災害と自殺 その関連と予防・ケアについて. *最新精神医学*. 201901; 24(1):35-42.

大江美佐里, 前田正治. 【ICD-11のチェックポイント】PTSD 関連疾患 DSM-5 との比較を軸に. *精神医学*. 201903; 61(3):255-260.

前田正治. 【医療現場での怒りーどのように評価しどのように対応するべきか】PTSD と怒り. *精神医学*. 201911; 61(11):1267-1275.

瀬藤乃理子, 前田正治. 【生と死の交互作用 グリーフワークとソーシャルワーク】災害とグリーフワーク. *精神療法*. 201904; 45(2):193-199.

前田正治. 【国際疾病分類第 11 回改訂版(ICD-11)の社会精神医学的意義】ICD-11 における急性ストレス反応その臨床的意義と有用性について. *日本社会精神医学会雑誌*. 201905; 28(2):193-197.

【総説等】

瀬藤乃理子. ト라우マ臨床の明日 ト라우マケアの現場から 遺族のトラウマケア. *こころの科学*. 201911; 208:53-57.

瀬藤乃理子, 前田正治. 災害とグリーフワーク. *精神療法*. 201904; 45(2):39-45.

【その他】

前田正治. 被災者の声に耳を傾けてみよう. *こころの元気 plus*. 201904; 13(4):4-7.

著 書・訳 書

Maeda M, Murakami M, Oe M. Fukushima nuclear disaster: Multidimensional psychosocial issues and challenges to overcome them. In: Nriagu J editor. *Encyclopedia of Environmental Health 2nd Edition*. Amsterdam: Elsevier; 201908. p.121-131.

高橋聡美, 瀬藤乃理子. 第3章 子どものあいまいな喪失. In: 黒川雅代子, 石井千賀子, 中島聡美, 瀬藤乃理子 編著. *あいまいな喪失と家族のレジリエンス～災害支援の新しいアプローチ～*. 東京: 誠信書房; 201903. p.63-84.

瀬藤乃理子. 第5章 あいまいな喪失を支援する人のケア. In: 黒川雅代子, 石井千賀子, 中島聡美, 瀬藤乃理子 編著. *あいまいな喪失と家族のレジリエンス～災害支援の新しいアプローチ～*. 東京: 誠信書房; 201903. p.126-146.

竹林 唯. パニック症の認知行動療法. In: 下山晴彦, 他 編. *公認心理師技法ガイドー臨床の場で役立つ実践のす*

べてー. 東京: 文光堂; 201903. p.528-534.

竹林 唯. パニック症の認知行動療法の基盤となる研究. In: 日本認知・行動療法学会. 認知行動療法事典. 東京: 丸善出版; 201908. p.86-87.

研究発表等

〔研究発表〕

Maeda M. Mental Health Consequences and psychosocial issues after the accident. The international symposium of radiation medical science center of Fukushima Medical University. Build Back Better: from the World to Fukushima, from Fukushima to the World; 20190114; Fukushima.

前田正治. 放射線事故時のメンタルヘルス. 平成 30 年第 6 回原子力災害時医療中核人材研修; 20190123; 長崎.

前田正治. 「深める、高める、広める」心理教育. 日本心理教育・家族教室ネットワーク第 22 回研修集会大阪大会; 20190208; 大阪.

瀬藤乃理子. 災害時の女性支援者特有のストレス. 第 30 回福島県精神医学会学術大会; 20190217; 福島.

前田正治. 被災者心理の基礎的理解. 災害支援活動者養成研修; 20190228; 福島.

伊藤亜希子, 岩崎 香, 前田正治. 福島第一原発事故後の原発災害スティグマおよびセルフスティグマの実態と取組み ～避難者コミュニティにおける聴き取り調査から～. 第 38 回日本社会精神医学会; 20190228-0301; 東京.

瀬藤乃理子. 小児がん医療の終末期・グリーフケアに関わる看護師のケア. 小児医療における中間施設の役割を考える研究会; 20190316; 神戸.

前田正治. 原子力災害の心理社会的影響. 平成 30 年度原子力規制人材育成事業 第 2 回防護健康影響課程; 20190319; 千葉.

伊藤亜希子, 岩崎 香, 前田正治. 原発避難者に対するスティグマ低減に効果を発したある小都市における取組み ～避難当事者を含む支援者への聴き取り調査から～. 第 18 回日本トラウマティック・ストレス学会; 20190615-16; 京都.

竹林 唯, 前田正治, 瀬藤乃理子. 福島県で就労している行政職員のメンタルヘルスの経年. 第 115 回日本精神神経学会; 20190620; 新潟.

瀬藤乃理子. 災害における「喪失と悲嘆」の支援. 日本家族療法学会第 36 回北海道大会; 20190630; 札幌.

瀬藤乃理子. 内丹修煉法を活用した「セルフケア・プログラム」の有用性の検討～演習中の気分変化と心拍変動等の生理的指標に着目して～. マインドフルネス学会第 6 回大会; 20190824; 大阪.

伊藤亜希子. 東日本大震災復興支援委員会の取組みの軌跡 ～成果と課題の検証～に向けて～. 第 55 回日本精神保健福祉士協会全国大会・第 18 回日本精神保健福祉士学会学術集会; 20190831; 名古屋.

瀬藤乃理子, 坂口幸弘, 丸山総一郎. 一次予防をめざした「セルフケア・プログラム」の試み〜プログラムの有用性の検証〜. 第27回産業ストレス学会; 20191129; 大阪.

[シンポジウム]

瀬藤乃理子. 死別(喪失)と人間的成長. 第18回日本トラウマティック・ストレス学会; 20190615; 京都.

瀬藤乃理子. 震災8年〜福島におけるあいまいな喪失〜. 日本家族療法学会第36回北海道大会; 20190629; 札幌.

瀬藤乃理子. あいまいな喪失における儀式の意味. 日本心理学会第83回大会; 20190912; 大阪.

放射線腫瘍学講座

論 文

[原 著]

Nakayama Y, Mimura K, Tamaki T, Shiraishi K, Kua LF, Koh V, Ohmori M, Kimura A, Inoue S, Okayama H, Suzuki Y, Nakazawa T, Ichikawa D, Kono K. Phospho-STAT1 expression as a potential biomarker for anti-PD-1/anti-PD-L1 immunotherapy for breast cancer. *International Journal of Oncology*. 201906; 54(6):2030-2038.

大津留晶, 緑川早苗, 熊谷敦史, 安井清孝, 大葉 隆, 千葉靖子, 宮崎 真, 佐藤久志, 長谷川有史, 津山尚宏, 坂井 晃, 石川徹夫. 放射線健康リスク科学教育の医学教育における潮流と本学での取り組み. *福島医学雑誌*. 201904; 69(1):85-94.

[総説等]

小此木範之, 佐藤浩央, 吉本由哉, 田巻倫明, 竹原由佳, 鈴木義行. varian RT REPORT がん医療における放射線治療最前線(No.1) 免疫放射線治療の理論的背景と現状・今後の可能性. *INNERVISION*. 201901; 34(1):84-85.

佐藤浩央, 小此木範之, 吉本由哉, 田巻倫明, 鈴木義行. 【がんにおけるPD-L1分子の発現調節】放射線治療とPD-L1発現. *癌と化学療法*. 201905; 46(5):845-849.

小此木範之, 鈴木義行, 佐藤浩央, 吉本由哉, 田巻倫明. 【放射線療法と免疫療法との併用療法を考える】免疫放射線療法 放射線療法と免疫療法との併用療法. *臨床放射線*. 201910; 64(11):1325-1329.

[その他]